

# 縄南道通信



平成30年 12月3日 発行

2018年度 第8号

**「返事！あいさつ！声！ダッシュ！！」**

くすは縄手南校 横小路校舎

日比野 功

東大阪市立義務教育学校くすは縄手南校区教育理念

**～縄南道による～二十歳の成人式に**



**当たり前の行動を当たり前に行うことができる人の育成**

**「日本一」を達成するために必要なことは「諦めない力」をつけること**

縄手南は「日本一」を目指しています。「日本一」を目指すというと、「どうなったら日本一ですか?」とよく問われます。この問いに関しては、その意図によって非常に多くの答えがありますが、少なくとも「自分は全力を尽くしていない」「自分はまだまだやれる」「こんなもんじゃない」と思っている限りは、まだまだ「日本一」でないことは明らかです。また他の頑張っている人たちと比べて、「向こうの方が凄い」と思っていたとしたら「日本一」でないことも確かです。縄手南が目標とする「日本一」は、何かと比べているのではありません。「自分が今、全力であるか」ということ、また、その一つ一つが絶対に「一生懸命」であるかということ、限りなく「ていねい」であるかということ、限りなく「ひたむき」であるかということを問うています。まさに「返事！あいさつ！声！ダッシュ！！」を限りなく意識していたかが大切です。先日の「校区パズルハイキング&防災訓練」に参加してくれた生徒が、ある学校の様子を知って、「自分たちと同じようなことにこだわっている学校があると知って、自分たちの方ができているんじゃないかと思ったこともあったし、自分たちの方ができていないんじゃないかと思うこともありました。」と感想を述べてくれました。この感想こそ「日本一」を目指すために必要な要素がたくさん盛り込まれている感想です。できていることはさらに磨き、できていないところはできるようになればいい。一つひとつ積み重ねて、まずは目の前にある高い山を登るということに挑戦することが重要です。目の前の高い山に登ると、下から眺めていただけでは見えなかったが、その向こうに広がっているさらに高い山が見えてきます。

では、「日本一」を目指し達成するためにはどのような力をつければ良いのでしょうか。答えは単純明快です。「日本一」を目指すために絶対に必要に力は、「諦めない力」です。目標に向かって取り組む過程では、順風満帆にいつもうまくいくわけではありません。苦しいこともしんどいことも、嫌になってしまうことも当然あります。挫折を味わうことも当然あるはずで、その時、少しくらいゆっくり休憩をとることはあっても構いません。むしろ必要なことでもあります。しかし、うまくいかないからといってやめてしまったり、諦めてしまったりは、そこから前に進むことはできません。諦めずに、再度挑戦を繰り返さなければ、自分の前に立ちはだかっただけの壁を超えることはありません。大きな偉業を達成される方々や、凄いことを成し遂げる方々等が話される内容には共通して、必ず「あの時、諦めなくてよかった」という内容のことを話されます。どの方々も簡単に目標に到達されたわけではありません。それは誰もが想像できることです。高いハードルを1000台超えないと目標に達成できなかったとしても、目の前の1台をまず超えると残りは999台になります。残りが999台になっても目標が近づいたとは感じないでしょう。しかし、1台また1台と超え

て行き、10台超えることができたなら、また、100台超えることができたなら、少しは違う景色が見えてくるのではないのでしょうか。300台超えることができたなら、500台超えることができたなら、その時は目標の1000台を超えるまで、困難にぶつかったとしても「やめる」という選択肢はなくなっているかもしれません。

「日本一」を達成するためには「諦めない力」を身につけることです。「諦めない力」は、「一生懸命」「ていねい」「ひたむき」な行動を続けていると身につくものです。縄手南の目指すところは「日本一」です。全員の力を結集して掴み取りましょう。

### 防災訓練を意識して取り組みました。～11月3日(土) 校区パズルハイキングより～

11月3日(土)、縄手南校区校外指導協議会主催の第31回パズルハイキングが開催されました。今年も中学生96名がスタッフとして校区校外の皆様のお手伝いをさせていただきました。今回のパズルハイキングは例年の取り組みに加え「地域防災」に関する内容も組み込まれました。炊き出しでは、小中学校の災害備蓄倉庫に備えられているアルファ化米も使用しました。アルファ化米は、有事の際に火を使わなくても水だけで炊けるものです。また午前中のパズルハイキングでは地域諸団体の皆様によるクイズ等にも防災に関する内容が組み込まれました。午後の講演会では、呉市立警固屋中学校より斎藤美由紀校長先生をお招きして、「命を本気で守る～学校と地域の親和的な取組を通して～」というタイトルでお話をお聞きしました。呉市は今年7月の広島県豪雨災害による甚大な被害に見舞われ、斎藤校長先生は、その被害の大きさや自然の猛威を身を持って経験されたことから、「命を本気で守る」ということについて多くのことを身をもって感じておられました。講演会では目の当たりにされた体験・経験から貴重なお話を伝えていただきました。今後、縄手南校区が本気で取り組まなければならない地域防災について、今回のパズルハイキングをスタートとしてさらに充実させていくべきだと感じた内容でした。



炊き出しを行う中学生(左)とアルファ化米使用場面(右)

### 「旭堂南龍」襲名真打昇進おめでとうございます

本校卒業生でもありアドバイザースタッフの上方講談師旭堂南青さんが、このたび11月10日真打昇進され、同時に「旭堂南龍」を襲名されました。上方講談では27年振りの襲名真打昇進ということで、メディアでも数多く取り上げられています。縄手南小学校、縄手南中学校の卒業生でもあり、ご縁で現在は本校アドバイザースタッフとして道徳授業をはじめとした分野で教育活動をお手伝いしていただいています。プロの芸能人の方が学校におられ、その方が襲名真打昇進されるということは、まさに貴重なタイミングと言えるでしょう。お祝いの全校集会を開き旭堂南龍さんの益々のご活躍にエールをお贈りしました。

### 部活動・コンクール・発表会等表彰

女子バスケットボール 秋季中河内大会 準優勝

剣道 中河内地区中学校剣道大会 3位 杉本明佳里(8年)

第52回東大阪市中学校総合体育大会女子団体の部 準優勝(稲崎愛莉7年 杉本明佳里8年 横江柚季8年)

第14回中河内地区六市親善剣道大会 優勝 中堅・横江柚季(8年)

東大阪市中学校・高等学校生活体験意見発表大会 学校代表 中川梨珠(7年)「電車での出来事」

大阪府支援教育研究会中河内支部中学生屋内スポーツ大会 卓球2年女子の部3位 影山綺星(8年)

第2回樟蔭杯英語プレゼン大会(中学生の部) ウェブリオ賞 深井有澄(8年)

陸上 平成30年度東大阪市民駅伝競走大会

女子3位 1°05'13" (中田美月8年 笹倉雪希7年 石橋美春8年 加藤心花8年 三谷詩葉8年)

女子3区3位 石橋美春(8年)13'07" 女子4区3位 加藤心花(8年)12'40"